

事業計画書

記入例

令和5年×月××日作成

1 自治会名	□□□自治会
2 事業名称及び概要	名称 □□□自治会ふれ
	概要 高齢者の孤立化防止 にある地区センター
いずれかを記入ください。 ① 自治会加入促進に関する事業 ② 自治会運営の円滑化に関する事業 ③ 地域内住民又は団体の連携の促進に関する事業 ④ その他地域の課題の解決に関する事業	
① 対象事業	地域内住民又は団体の連携の促進に関する事業
連携団体名	③の「地域内住民又は団体の連携の促進に関する事業」を選択した場合、連携団体について記載してください。 民生児童委員・社会福祉法人日野市社会福祉協議会・子ども会・地域包括支援センター・〇〇老人クラブ
代表者氏名	〇〇老人クラブ 会長 日野 太郎
住所・携帯	日野市 神明1-12-1
団体の目的	
② 実施時期	令和5年4月 ~ 令和6年3月
③ 実施場所	□□地域、△△地域(対象地域)、××〇〇地区センター
④ 事業予算額	150,000 円
⑤ 補助金交付額	50,000 円
3 事業目的 (次の①②に留意して記入。)	①この事業の実施にあたり、どの ②この事業によって、①の問題や課題がどう解決・改善されるか。)
補助金交付対象事業選考結果通知書の補助金交付予定額をご記入ください。	
当自治会地域では、初期造成に伴う初期造成に伴う移転者が一斉に後期高齢者となり、地域全体の高齢化が顕著である。 一方で、ミニ宅造の進行で、子育て世代の流入もあるが、高齢者世代との交流が少ないのが現状。 そこで、高齢者の居場所づくり・高齢者見守りを目的として、そこに子育て世代が気軽に立ち寄れるイベントを行い、異世代交流の拠点としてサロンを立ち上げる。	

4 事業内容（実施方法等、具体的かつ詳細に記入。）

実施方法

- ・サロン開始を周知するパンフレットの作成（4月～6月）
4月～5月の役員会で記載内容を確認し、業者に依頼し6月に作成完了する。
 - ・実行委員会で内容を調整し、サロンの内容を決定する。（5月～6月）
 - ・サロンの周知（6月30日～10月31日）※サロンが開始されても周知を続ける。
- 各班に回覧依頼 ○日野市広報板への掲示
- ◎サロンの開始（8月1日）<開所式>
- ①実行委員長挨拶 ②来賓紹介 ③コーヒー試飲 ④閉会
- ◎通常サロンスタート（8月7日）歌、お弁当、ダンス、お茶タイム、さよならの歌
- ・自宅からでも参加できるように、オンライン配信を行う。
 - ・後日アンケートを配布し、今後の参考とする。
 - ・反省会の開催 開設1か月後、実行委員で反省会を実施
アンケートの内容と、反省会で出された意見を参考に、今後の運営に役立てる。

5 事業の効果（具体的かつ詳細に記入。）

（1）地域の相互意識の向上

主な対象者である高齢者ばかりでなく、子育て世代が利用し、地域全体が顔見知りとなる。挨拶せずにはすれ違う関係が、挨拶する関係になり、立ち話をする関係となり、互いに思いやる関係に成熟し、地域力を向上させる。

（2）高齢者の居場所づくり

サロンを開催することにより、高齢者の外出する機会を作る。また、家に籠りがちな方には、サロンに誘うことで、外出をうながす。

（3）地域での高齢者の見守り

サロン利用者がしばらく、サロンに来なくなった場合、個別に声をかけたり、民生委員や地域包括支援センターなど関連機関に連絡し、地域で高齢者を見守る。

（4）地域の人材の発掘

サロン開催にあたり、イベントを行う。その際には、地域の方を講師として迎え、地域の人材の掘り出し、活性化を狙う。

（5）自治会間の交流促進

近隣自治会にも声をかけ、広く利用者を募る。そして、他の自治会間の交流につなげる。

事業予算書

※補助対象事業にかかる収支金額を記入してください。

※収入と支出の計を同額にしてください。

明細はできるだけ詳しく
記入してください。

〔収入〕

収入の区分	収入明細	金額（円）	備考
自己資金		40,000	
事業への 寄附金		5,000	
参加費・ 入場料等	参加費 500 人×100 円	50,000	
その他の収入		0	
補助金		50,000	
収入合計額		145,000	

補助金交付対象事業選考結果通知書の補助金
交付予定額をご記入ください。

明細はできるだけ詳しく
記入してください。

〔支出〕

別表 1 の経費区分より
該当するものを選んで
ご記入ください。

経費の区分	(単価×数量)	金額 (円)	備考
委託費	サロン案内チラシポスティング委託 200 戸 × 5 回 × 20 円	20,000	
賃借料	クリスマスツリーレンタル 5,000 円	5,000	
印刷費	チラシ印刷 チラシ 2,000 枚	15,000	
通信・ 運搬費	郵送料 120 円 × 50 通 = 6,000 円	6,000	
消耗品費	プリンタ用インク 2,000 円 × 2 本 = 4,000 円 封筒 1,000 円 印刷用紙 5,000 円 賄材料費 (お菓子、コーヒー) 100 円 × 500 人分	60,000	
消耗品費	手指消毒用アルコール 3,000 円 × 1 本 マイクスピーカー 21,000 円	24,000	
その他	イベント保険料 30 円 × 500 人 = 15,000 円	15,000	
補助対象外 経費			
	支出合計額	145,000	

事業予算書の収入合計額と
一致させてください。